



日本血管外科学会

Japanese Society for Vascular Surgery

第8回 血管内治療ワークショップ

EVT Workshop for being Advance

アンケート集計結果（回答24名）



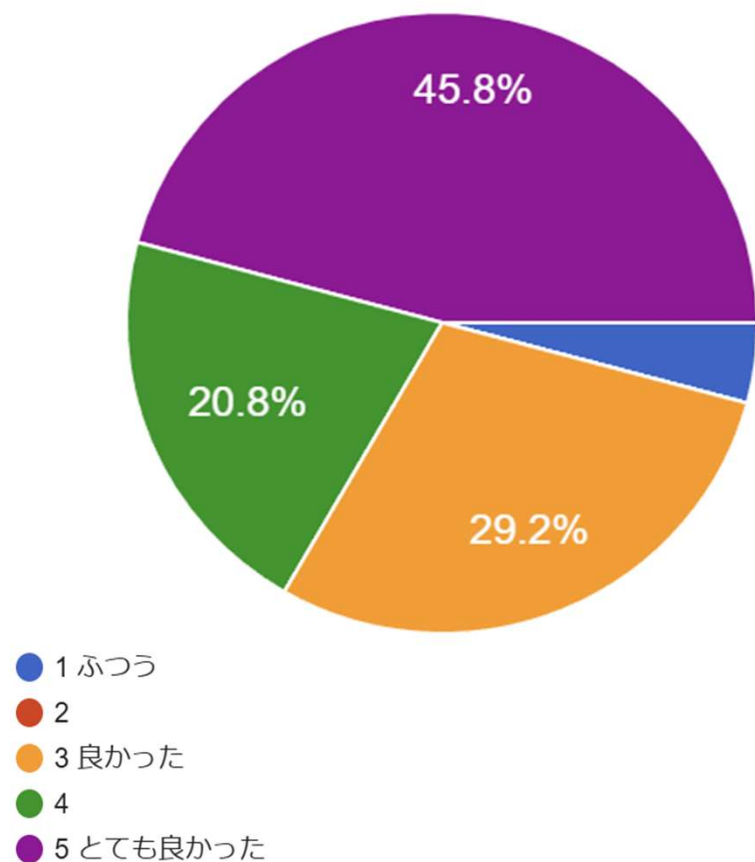
2024年11月23日（土） - 24日（日）

@ジョンソン・エンド・ジョンソン インスティテュート東京

共催：ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

1日目：Lunch Time Session

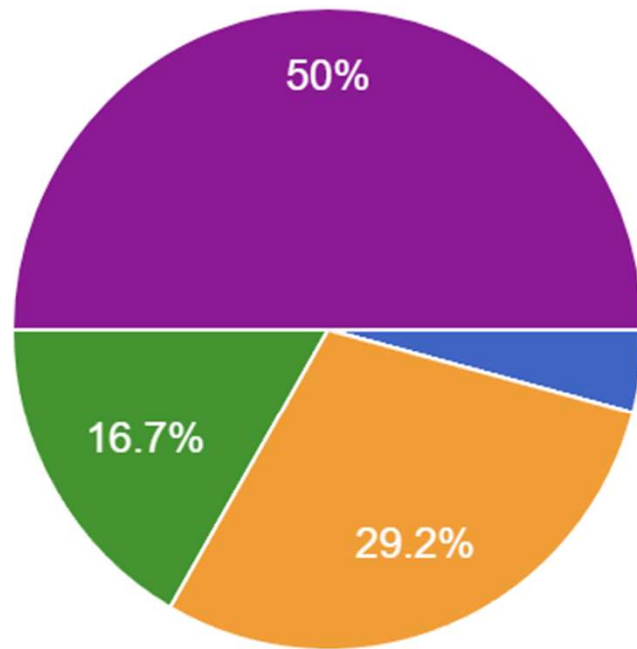
「SFA治療におけるDrug Eluting Stent（DES）の現状」



- よくわかった。
- 普段治療する立場ではないのですが、非常にわかりやすく概要を説明してくださったので、良かったです。
- これまでのDESの変遷、臨床試験の結果を系統的に知ることができ、とてもわかりやすかった。再介入の際に閉塞、狭窄どっちが多いのかをデバイス選択のときに考慮しようと思った。
- CVITなど循環器内科の知見を詳しく知ることができてたいへん勉強になりました。

1日目：Lunch Time Session

「SFA治療におけるDrug Coated Balloon（DCB）の現状」

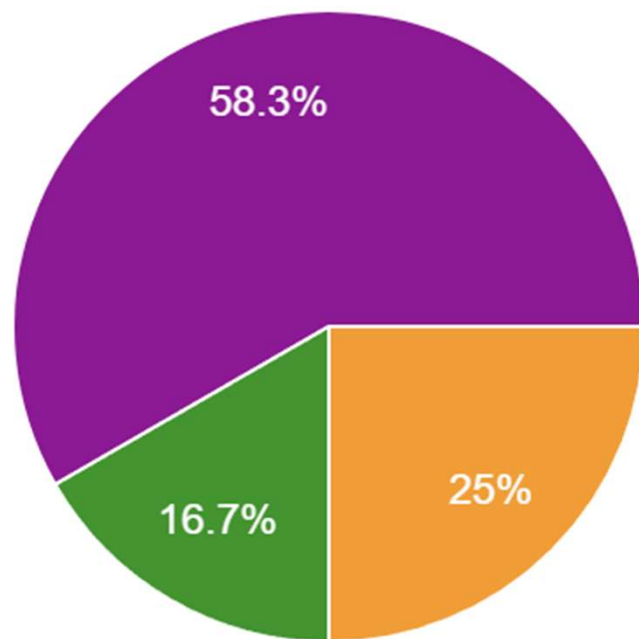


- 1 ふつう
- 2
- 3 良かった
- 4
- 5 とても良かった

- とても良かったです。
- DCBの概要がよくわかりました。
- DCBの使用機会が増えているが適した病変に使用、しっかり広げてから使わないといけないと思った。バルーン種類ごとの結果の違いも勉強になった。
- 最近ではどうしてもDCBを多様しがちなので、適応についてまいちど考えてみようと思いました。

1日目：講義①

下肢血管内治療の現状と適応（ガイドラインなど）

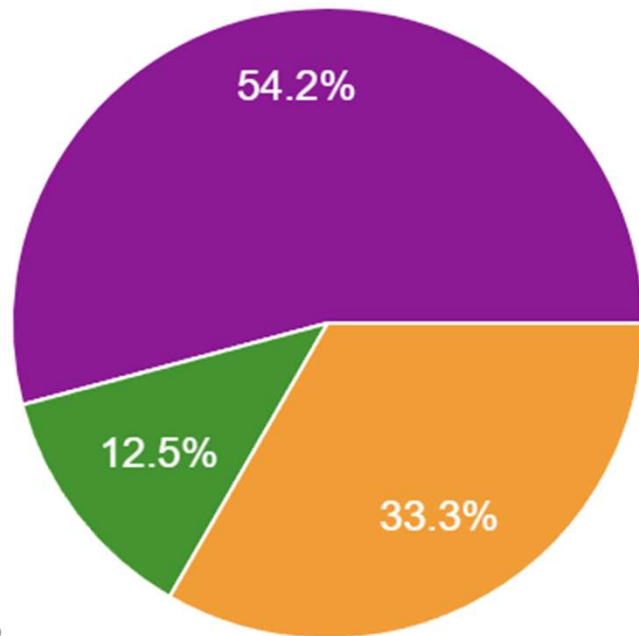


- 1 ふつう
- 2
- 3 良かった
- 4
- 5 とても良かった

- とても良かったです。
- 海外の最新のガイドラインの内容の紹介もあり、とてもわかりやすかった。
- EVTの歴史から始まり、概要がよくわかりました。
- 欧米の最新のガイドラインを知ることができた。
- これまでのガイドラインの変遷と新規の変更点を知った。特に2024年のもので外科的治療の有用性が反映されていることをしった。
- ガイドラインが出ると一度さらっと読むだけになってしまいましたが、改めて確認することができて良かったです。
- 分かりやすかった。スライドが綺麗だった。

1日目：講義②

血管内治療に必要な血管造影の基本（各種穿刺アプローチ法）

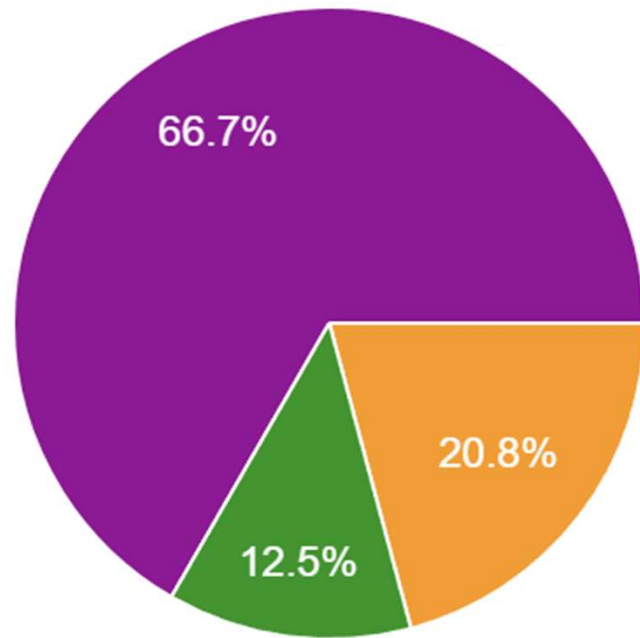


- 1 ふつう
- 2
- 3 良かった
- 4
- 5 とても良かった

- とても良かったです
- 復習になりました。ワンショットが良くないのがよくわかりました。
- 被曝を避けることに対する意識が強くなった。
- 標準的な防護以外は私も基本浴び放題でしたので、今後気をつけます。
- 初めて、表パン、裏パンといった単語を聞きました。
- 分かりやすかった。視点が新しいと思った。

1日目：講義③

血管内治療に必要なガイドワイヤーとバックアップカテーテルの種類と選択

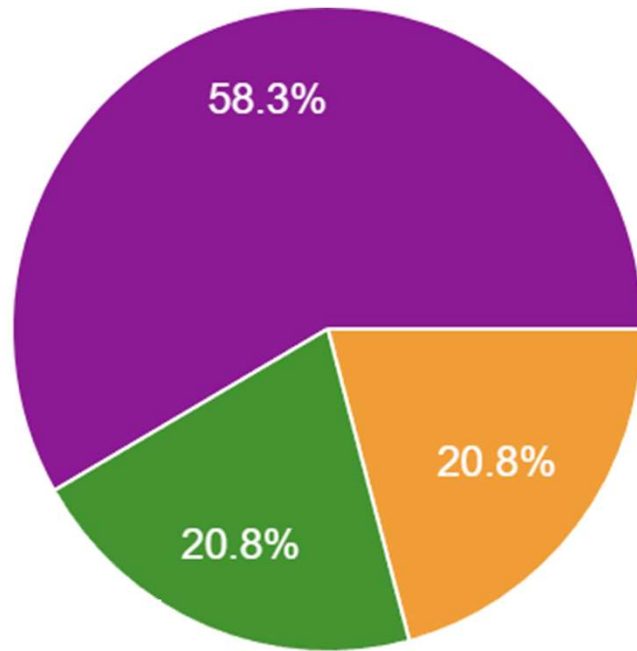


- 1 ふつう
- 2
- 3 良かった
- 4
- 5 とても良かった

- とても良かったです。
- わかりやすい説明で知識が整理されました。
- なぜそのガイドワイヤーを選ぶか、先端荷重ぐらいしか正直みていなかったが普段からもっと考えて使用しなければいけないとおもった。動画でのワイヤーごとの挙動の違いが分かりやすかった。
- ガイドワイヤーについては業者さん任せのことが多いので、こちらからも新たな提案をしてみようと思いました。一覧表たいへん助かります。
- 後日配布された資料が有り難かった。

1日目：講義④

Iliac CTO病変に対する血管内治療とトラブルシューティング

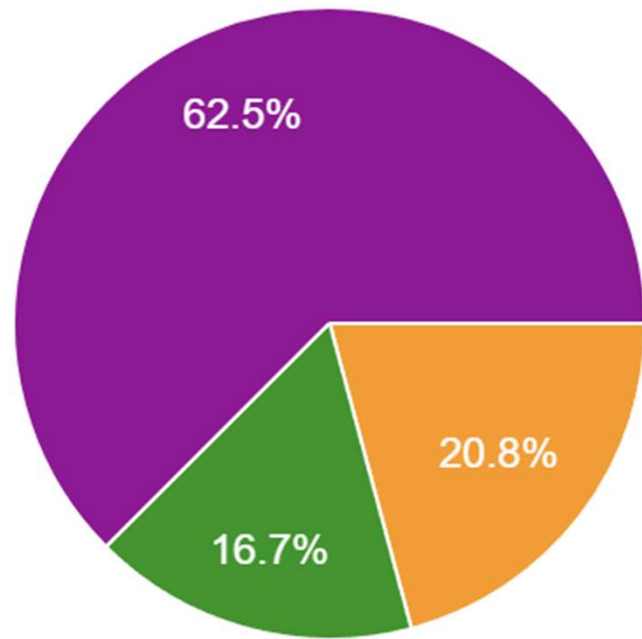


- 1 ふつう
- 2
- 3 良かった
- 4
- 5 とても良かった

- とても良かったです。
- 難しそうだった。
- Trans RAでのEVTにトライしたいと思った。
- 橈骨動脈アプローチは低侵襲ではあってもリスクを考えるとなかなか患者さんへおすすしにくく、どうしても消去法の選択肢になってしまいます。講義を聞かせていただいて、さらに迷っています。
- 分かりやすかった。

1日目：講義⑤

SFA CTO病変に対する血管内治療



1 ふつう

2

3 良かった

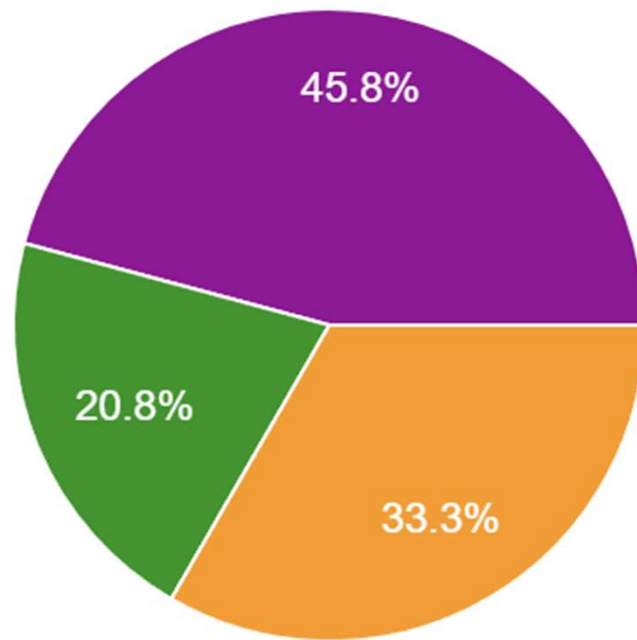
4

5 とても良かった

- 1番良かったです。
- 内容が具体的でわかりやすかった。
- CTOを通すための豊富なテクニックを知ることができた。時間がかかることが多いが色んな引き出しをもって治療できるようにしたいと思った。
- distal punctureも殆ど経験がなく、循環器の先生の手技をみていつもすごいなーと思っていましたが、症例があれば試してみようと思います。
- 分かりやすかった。

1日目：講義⑥

膝下病変に対する血管内治療

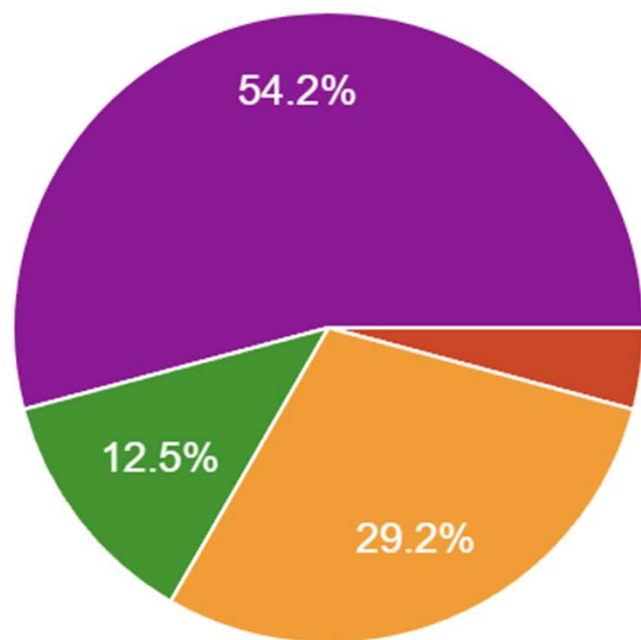


- 1 ふつう
- 2
- 3 良かった
- 4
- 5 とても良かった

- 良かったです。
- メッセージ性のある説明で非常に勉強になった。
- 膝下病変のCLTI症例に出会うことが多いのでとても勉強になった。
- 循環器の先生のお話を聞けるのはいつもたいへん勉強になります。とても簡単そうに当たり前のようにされていることや考え方が外科医からみて驚くことが多いので、毎回あらたな発見があると感じています。
- 勉強になった。

1日目：講義⑦

Hybrid Endarterectomy and Endovascular therapy

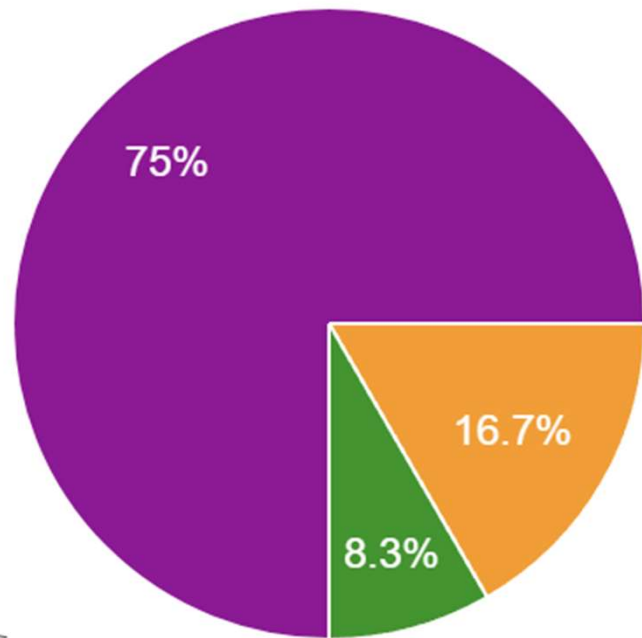


- 1 ふつう
- 2
- 3 良かった
- 4
- 5 とても良かった

- 良かったです。
- ハイブリッド治療は普段循環器内科とも一緒にしているが、現場に活かせるような発表で、ためになった。
- 治療選択は非常に多岐にわたり、経験の豊富な人を含めてチームでの検討が必要と思った。
- 所蔵施設ではハイブリッド手術室がなく、カテ室でむりやりやっている感じですが、麻酔科や他科との兼ね合い、また清潔レベルなどを考えるとなかなかむずかしいのが現状です。設備の整ったところで、このような素晴らしい結果を得られていることは、単純に羨ましく思っています。
- 勉強になった。

1日目：講義⑧

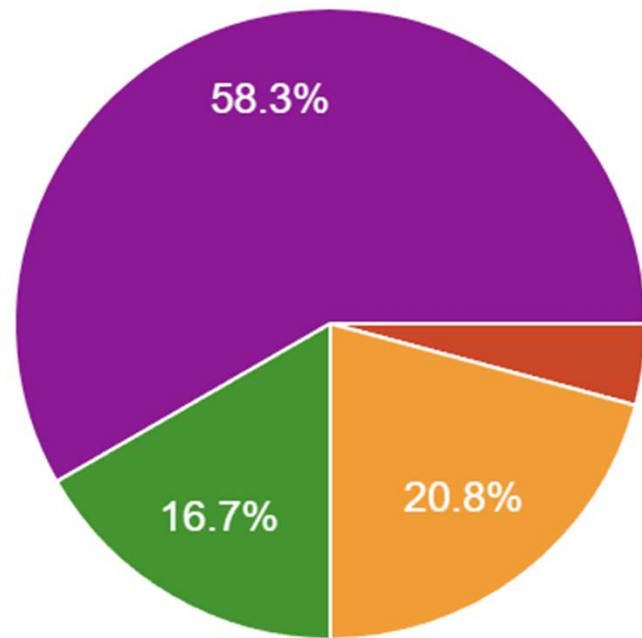
Coil 塞栓術の基本と応用



- 1 ふつう
- 2
- 3 良かった
- 4
- 5 とても良かった

- 良かったです。
- 普段なんとなく使用していたコイルの使い方について学ぶ機会はほとんどなかったのでとても勉強になった。
- カテーテルやコイルの選択が非常に勉強になりました。
- 基本からとても高度な技術と思われるテクニックまでとても勉強になった。それぞれのコイルの特性を把握しなければいけないと思った。
- 放射線科の先生の繊細な手技について、また多くあるコイルについてまとめていただき、とても役にたつ内容でした。ありがとうございました。
- 個人的に今回の講義の中で一番良かった。

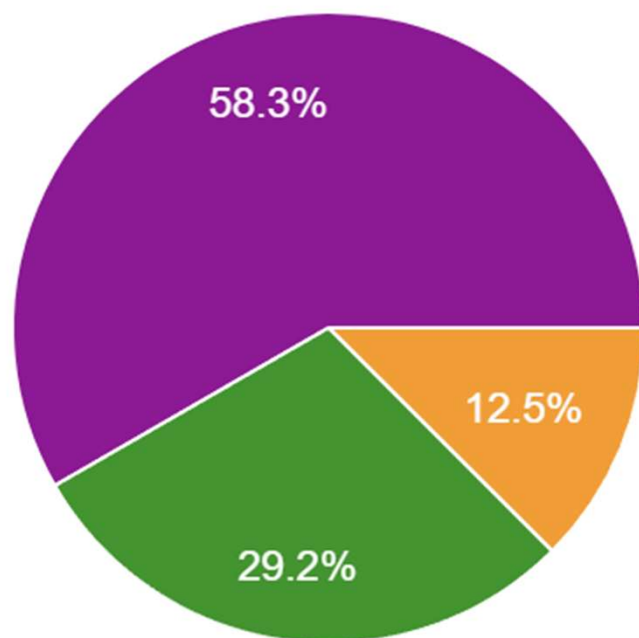
1日目：Coffee Break Session



- 1 ふつう
- 2
- 3 良かった
- 4
- 5 とても良かった

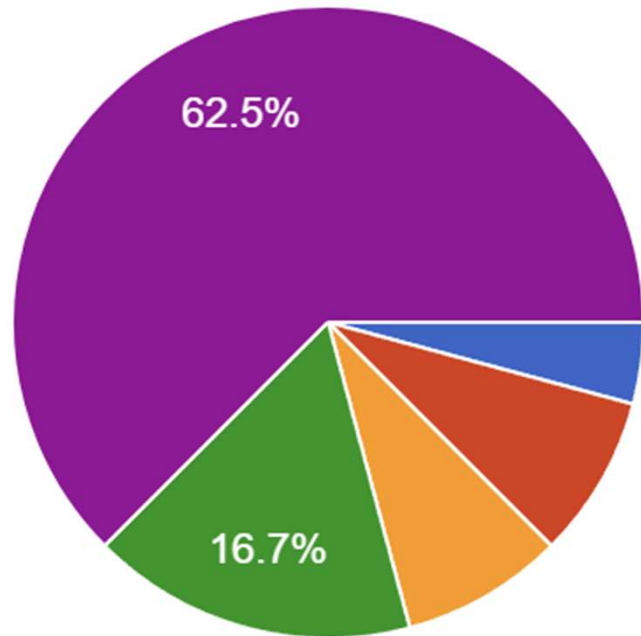
- 良かったです。
- 穿刺のピットフォールなども含めて勉強になりました。
- Distal puncture をやってみたいとおもった。
- 透視画面に手が入ったら怒られる！と繰り返されておられたのが印象的でしたが、私もいつも入り放題だったので以後気をつけます。また、穿刺針の外筒が組み立てられることは今回初めて知りました。
- 良かった。

1日目：Case Discussion 治療戦略を考える



- 良かったです
- アプローチや治療方針など考えさせられるものばかりで、非常に勉強になりました。
- 二つ目の症例について一期的に完全に治療を行われており、非常に複雑な症例におけるハイブリッド治療の良さを実感した。
- 所属施設の治療選択が一択と考えがちですが、色々な意見が聞けてよかったです。
- 皆で意見交換するのがとても勉強になった。

1日目：ハンズオン (ETOS・Distal puncture)



- 1 ふつう
- 2
- 3 良かった
- 4
- 5 とても良かった

- 初めての実践的なレクチャーで良かったです。
- 楽しかったです。
- distal punctureの経験がなく、シミュレーターを用いて実際に経験できたのは良かった。
- 機器が非常に充実していたので良かった。
- ガイドワイヤーの挙動の違いについて体験できたのが良かった。
- なんでもエコーガイド穿刺なので透視下のみでの穿刺は逆に不安になります。穿刺部位の注意など、たいへん勉強になりました。
- Distal punctureのイメージができるようになった。

1日目の感想

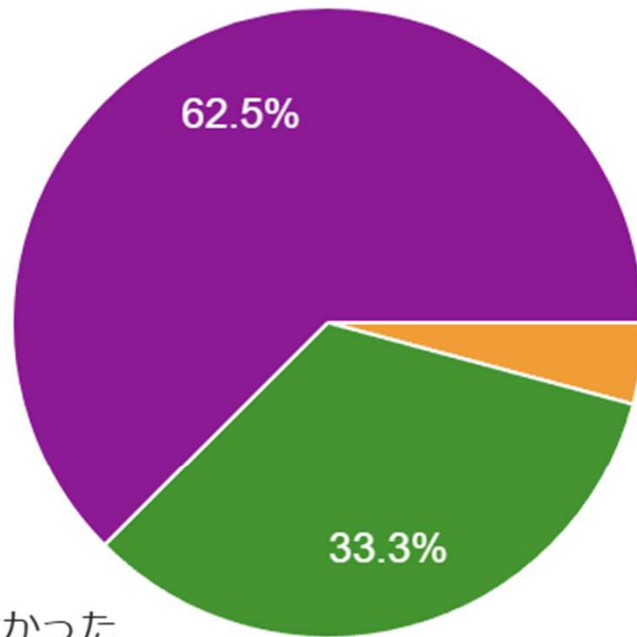
- 概念が分かって理解がかなり進みました。
- エビデンスに沿った治療方針と、実臨床での肌感覚を同時に学ぶことができるレクチャーで非常に勉強になりました。
- ディスカッションでなかなか意見を出せず悔しかったです。精進します。
- 最高でした！明日もがんばります！
- ケースディスカッション難しかったです、大変勉強になりました
- 講義、実技どちらもとても勉強になりました。
- 講義中心で少し集中力が切れてしまったが、途中にハンズオンがあればもう少しメリハリがついたかもしれない。
- 非常に学びが多い1日でした。
- どの講義も大変勉強になる内容だった。

1日目の感想

- 内容が多く大変だったがとても勉強になった。
- どのレクチャーも目から鱗で非常に勉強になりました。
- すごく慌ただしくて講師の先生方に質問する時間がなかった。もう少しスケジュールにゆとりをもってほしい。
- 座学のボリュームが多くかなり勉強になったが、知識を自分のものにできるよう資料を振り返りたいと思う。
- まとめてたくさんの講義を聞かせていただき、自分にとって新たな知見も多く大変勉強になりました。ありがとうございました。
- プレゼン資料が小さく、あとで振り返りづらいと感じました。
- 実臨床に活かすところができるレクチャーで充実した1日でした。

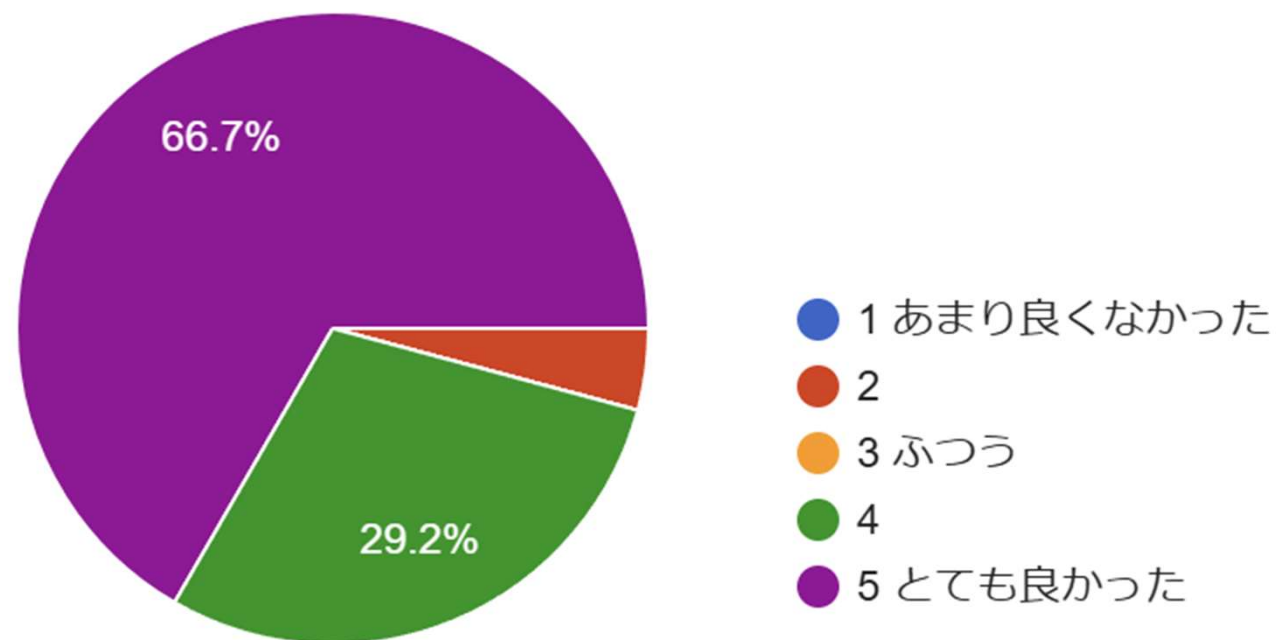
2日目：Lunch Time Session

「EVTにおけるステントグラフト（GORE Viabahn, VBX）」



- viabahnおよびVAXの良い適応や逆に注意すべき症例が理解できてよかった。
- 非常に分かりやすかったです。
- BXBでのとうこつ動脈アプローチ EVT、ISRへのバイアバーン使用を今後やりたいと思った。
- ISRにも使用拡大されたことを知りませんでした。
- 分かりやすかった。

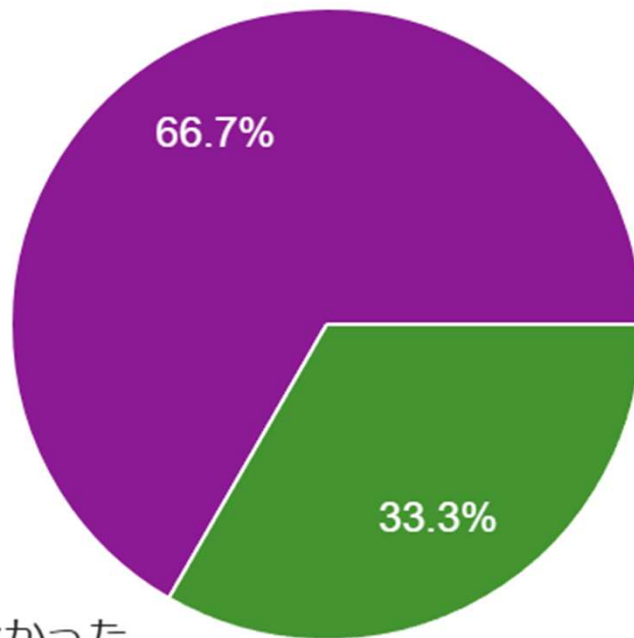
2日目：ウェットラボの総合評価



2日目：ウェットラボの総合評価

- 時間が短かった
- 前日の座学で学んだことをすぐ実践できたのでとてもよかった
- ワイヤーやカテーテル、ステント、コイルの挙動や操作のコツなど講義で学べなかった実践的なことを学べて有意義であった。
- 課題があり、それを達成するといったやり方がよいと思います。
何やりたいか？と言われても、ヘルシーな血管のどこにステントを置いてもあまり体験になりません。
いくつかの課題、例えば、SFAにステント留置、次の人は1cm重ねでステント留置。
他には腎動脈ステント留置等、いくつかの課題があると取り組みやすいと思います。
- 実際のカテ操作にとっても近い環境で、ワイヤー操作のコツを講師の先生から直接学ぶことができ良かった。
- 普段さわらないデバイスを体験できてよかった
- ヒトではおそらくできないことをいろいろ行うことができました。講師の先生方のご指導も大変わかりやすかったです。ありがとうございました
- リアルでとても良かった。

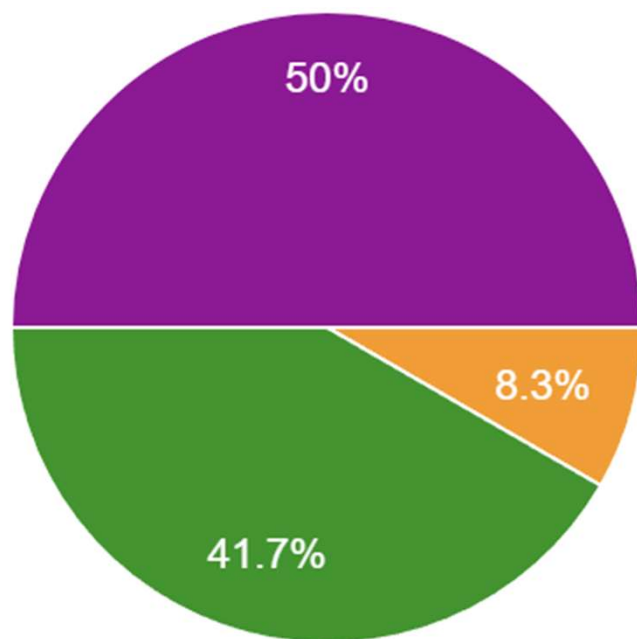
2日目：ドライラボの総合評価



- 1 あまり良くなかった
- 2
- 3 ふつう
- 4
- 5 とても良かった

- デバイスの使い方を学べた。
- 豊富な種類のデバイスを経験することができた。
- デバイスごとに普段聞けないような基本的なスペックや操作方法など学ぶことができ有意義であった。
- 一人一台でじっくり行え、質問をできたので大変満足です。
- とても良かった。

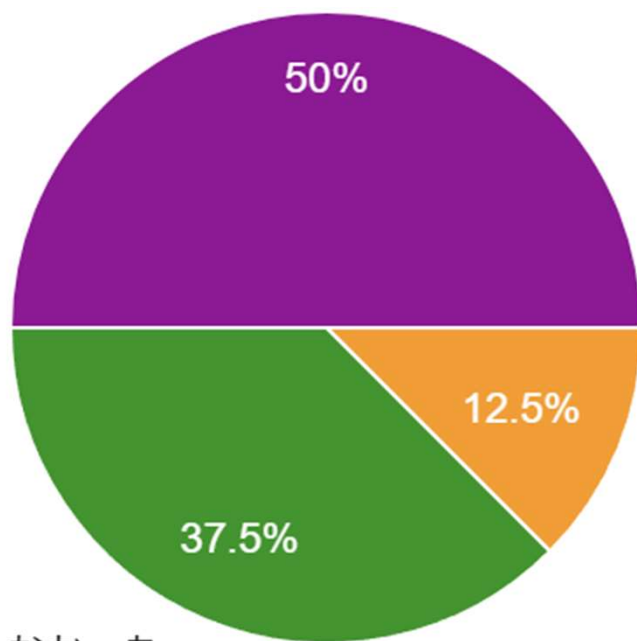
2日目：①Outback Learning Center



- 1 あまり良くなかった
- 2
- 3 ふつう
- 4
- 5 とても良かった

- 使ったことのないデバイスだったので、ハンズオンで試せてよかった
- シミュレーターでどのように使用するのかわかりやすかった。かなり鋭利で正しく使用しないと怖いと思った。
- ライブなどではよくみていたデバイスですが、今回初めて実物を触りました。
- 分かりやすかった。業者の方のレクチャーが親切・熱心だった。

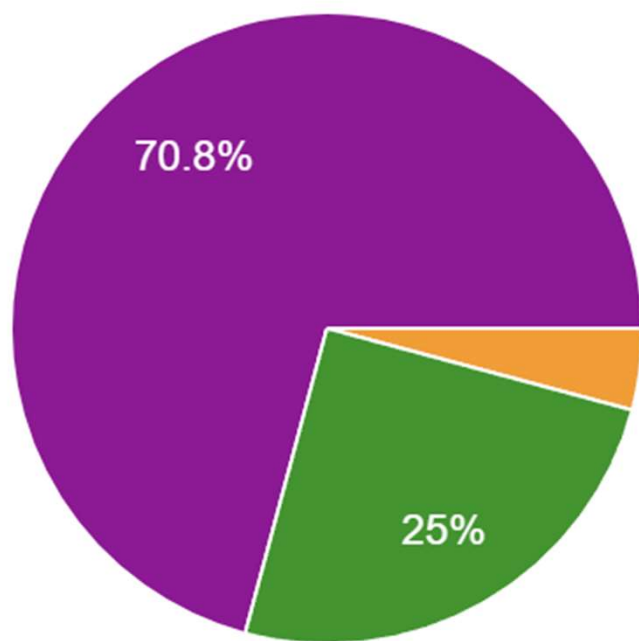
2日目：②IVC filterハンズオン



- 1 あまり良くなかった
- 2
- 3 ふつう
- 4
- 5 とても良かった

- 一連の流れを理解することができた。
- 所属施設ではフィルターは全て循環器科が行っているのですが、以前別の病院で使っていたものとはスネアなどのシステムが異なり、勉強になりました。
- 業者の方のレクチャーが親切・熱心だった。

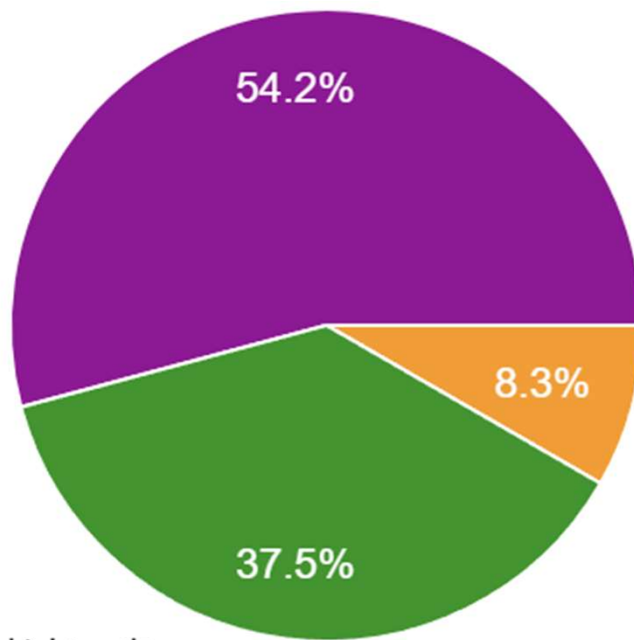
2日目：③Supera講義・ハンズオン



- 1 あまり良くなかった
- 2
- 3 ふつう
- 4
- 5 とても良かった

- supera展開時の注意点が分かってよかった。
- デバイス留置がハンズオンで経験できてよかった。
- 留置が難しいがステントが伸びた状態とそうでない時の硬さの違いなど知ることができ、正しい留置の大切さを実感できた。
- スタントのサイズ選択について再確認しました。
- 分かりやすかった。業者の方のレクチャーが親切・熱心だった。

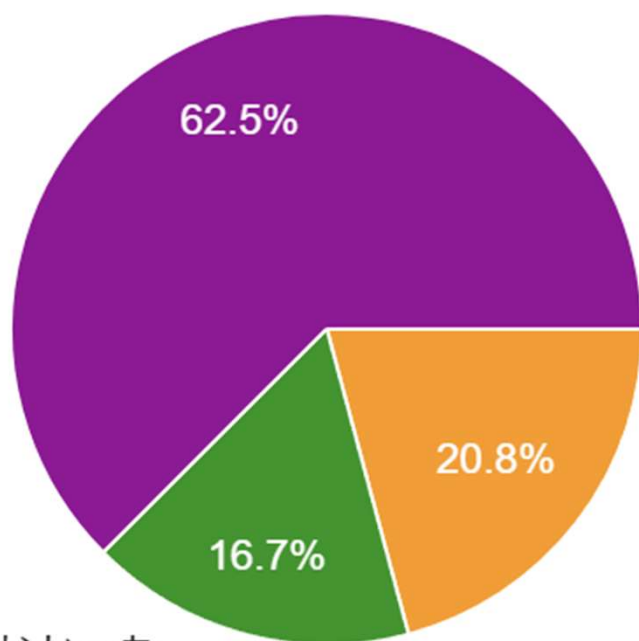
2日目：④疑似血管モデルバルーン・Wingman



- 1 あまり良くなかった
- 2
- 3 ふつう
- 4
- 5 とても良かった

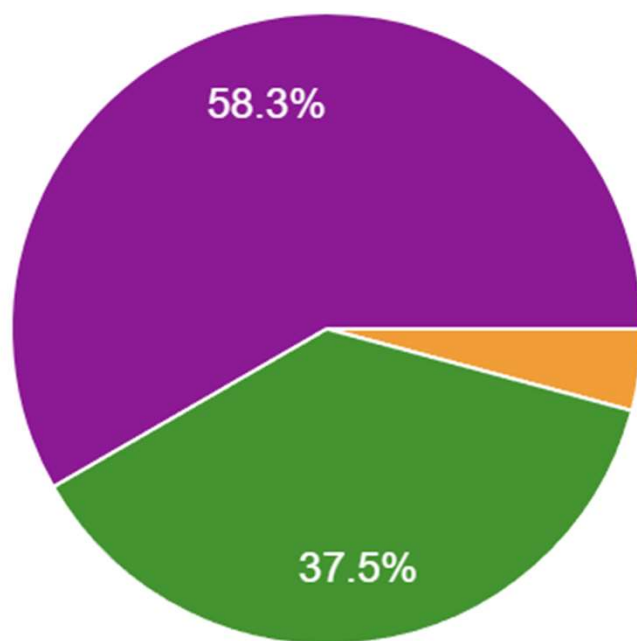
- ウェブなどで見て気になっていたデバイスなので実際に触ることができ良かったが難しそうと思った。
- お値段がかなり高いということでしたが、機会があれば是非使ってみたいと思います。
- 業者の方のレクチャーが親切だった。

2日目：⑤IVUS Learning Center



- IVUSの有用性を学べた。
- ショートレクチャーによりどのように実臨床で使っているかを聞くことができ有意義であった。
- 山岡先生の解説がわかりやすくてよかった。
- 所属施設のものと同じ機種でもあり理解が深まりました。
- 業者の方のレクチャーが親切だった。

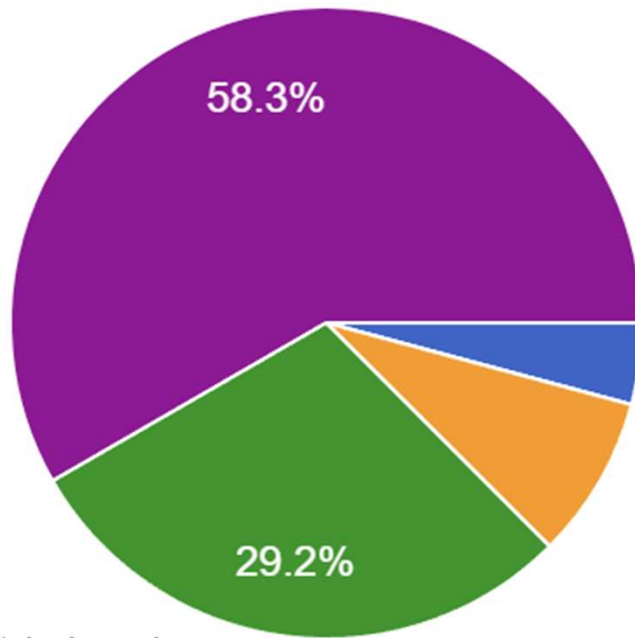
2日目：⑥止血デバイスハンズオン(Perclose)



- 1 あまり良くなかった
- 2
- 3 ふつう
- 4
- 5 とても良かった

- 血管内の様子を見ることができるシミュレーターで分かりやすかった。糸かけしたものを裏から見ることができ、実際に血管壁にどのようにかかっているのか知ることができた。
- 丁寧に解説いただいて良かった。
- しばらく使わないとすぐ手順を忘れてしまうので、ハンズオンで実際にご指導いただきたいへんよかったです。
- 業者の方のレクチャー・対応がとても丁寧に親切だった。しっかりマスターできた。

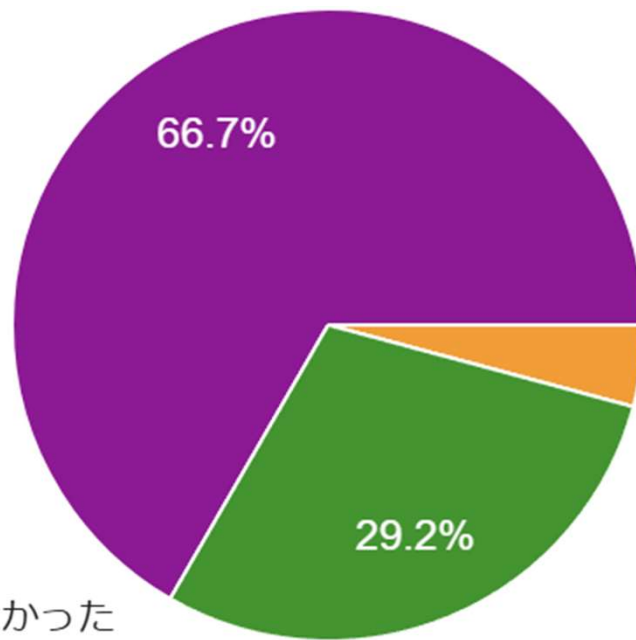
2日目：⑦止血デバイスハンズオン(Exsosseal)



- 1 あまり良くなかった
- 2
- 3 ふつう
- 4
- 5 とても良かった

- 臨床でうまくいかなかった時があったがなぜなのか聞くことができたので、次回試してみようと思う。
- 丁寧な解説が良かった。
- 使用に対する入院期間の縛りがなくなったことを知りませんでした。
- 手を動かすよりも説明が長く、ラボの効果が半減していると思いました。
- 業者の方のレクチャー・対応がとても丁寧で親切だった。しっかりマスターできた。

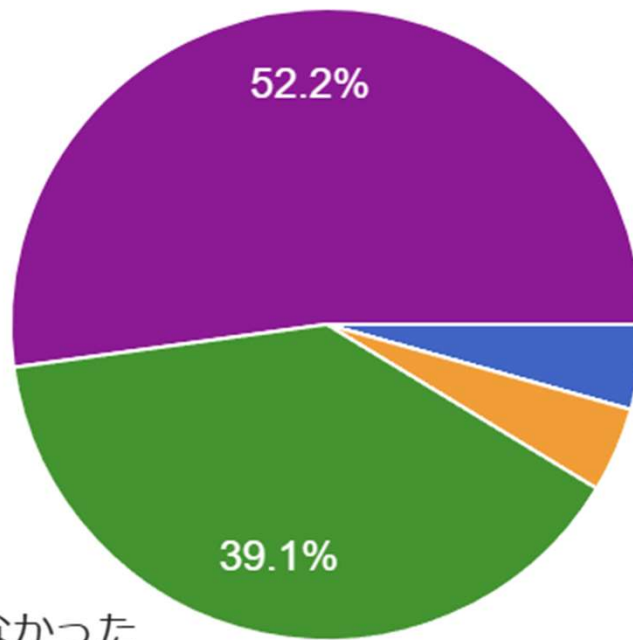
2日目：⑧コイルハンズオン(セレノバス、ストライカー、ボストン、テルモ)



- 1 あまり良くなかった
- 2
- 3 ふつう
- 4
- 5 とても良かった

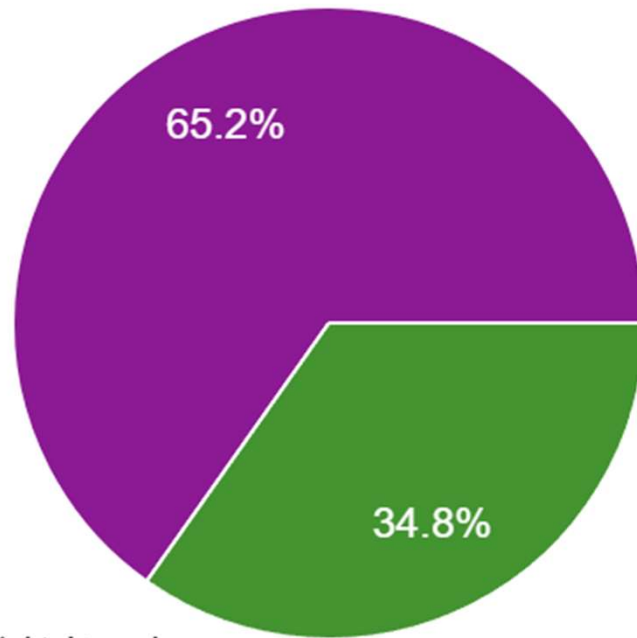
- 各コイルの特徴を学べた。
- コイルの違いを実際に触ってみて経験でき、今後の選択の際に活かせると思う。
- 電熱カットタイプは使ったことがなかったので体験できて良かったです。
- 業者の方のレクチャー・対応がとても丁寧で親切だった。しっかりマスターできた。

2日目：⑨血管モデルハンズオン（R2Pモデル）



- 橈骨動脈アプローチにトライしてみたい。
- 実際に使用を考えている症例についてご相談することもできました。
- とても良かった。

2日目：⑩EVT Simulator(Viabahn)



- 1あまり良くなかった
- 2
- 3ふつう
- 4
- 5とても良かった

- 使ってみようと思いました。
- 実際に近いシミュレーターで留置の手順がよくわかった。
- このシミュレーターは感覚などどうなっているのか分からないけどすごい！といつも思います。
- 面白かった。業者の方の対応がとても丁寧だった。

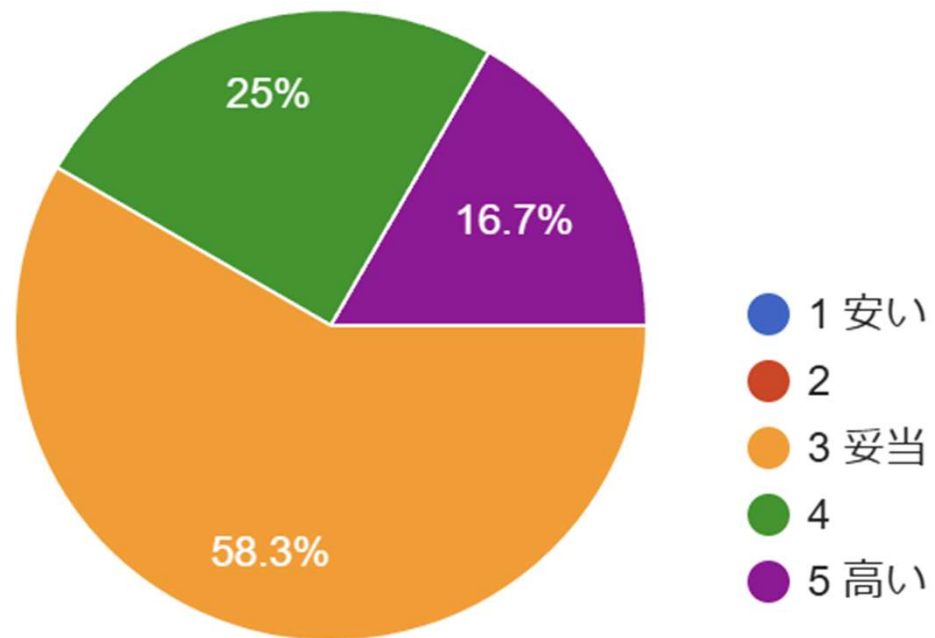
2 日目の感想

- wetの時間がもっと欲しい。
- 種々のデバイスに対して、basicな内容からプロフェッショナルのtipsに至るまで手取り足取り学ぶことができ、充実した2日間でした。
- 豚やドライラボでいろんなデバイスを試せたのがよかった
- 手を動かす機会が多くてよかった。
- 非常に手技が多くて有意義だった。
- 最後のwetlaboが1番楽しかったです。
- コイル回収の機会の際にやってみようと思います。
- 沢山手技ができて、デバイスにも触れて、大満足でした。

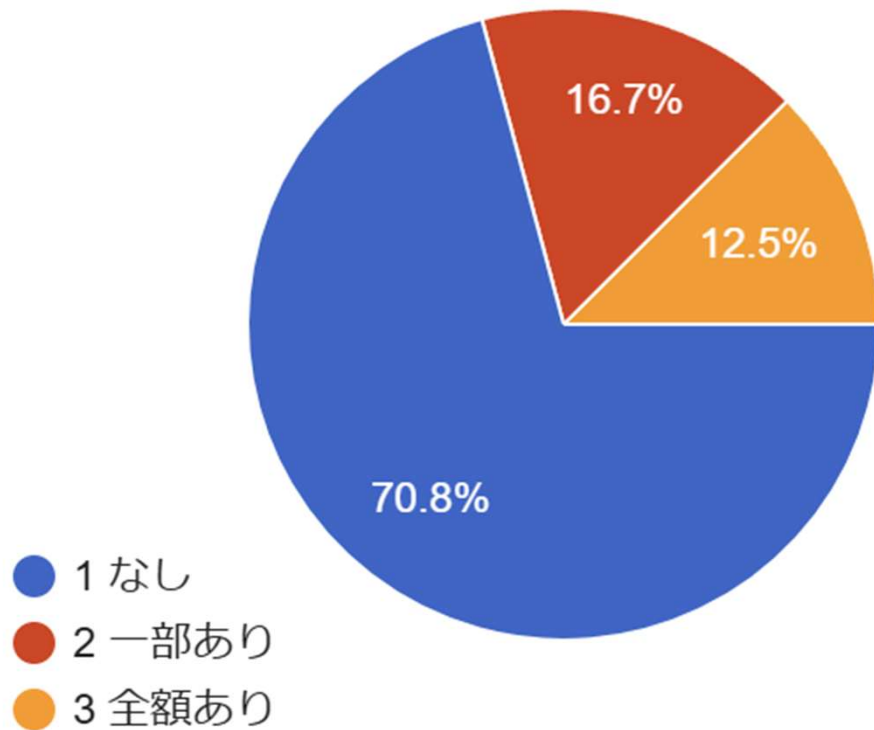
2日目の感想

- デバイス実際に触れて良い経験ができた。
- 豊富な種類のデバイスを経験でき、業者の方からたくさん説明頂いたが、講師の先生が実際にどのように使っているかなど実臨床での経験などの話を伺うことがあまりできなかった。
- 内容的には申し分なかった。
- 充実していたが、やや疲労がたまった。14時くらいまでがちょうどいいかもしれない。
- 盛りだくさんだったがエッセンスが詰まっていて理解が進んだ。
- ドライラボでは通常透視下でしか見えないものが実際にいろいろな角度から見られるのでとても勉強になりました。またウェットラボでは講師の先生方にたいへんお世話になりました。ありがとうございました。
- 各企業ブースのパンフレット等は事前にデータで資料配布があると時短になるかと思いました。

参加費について

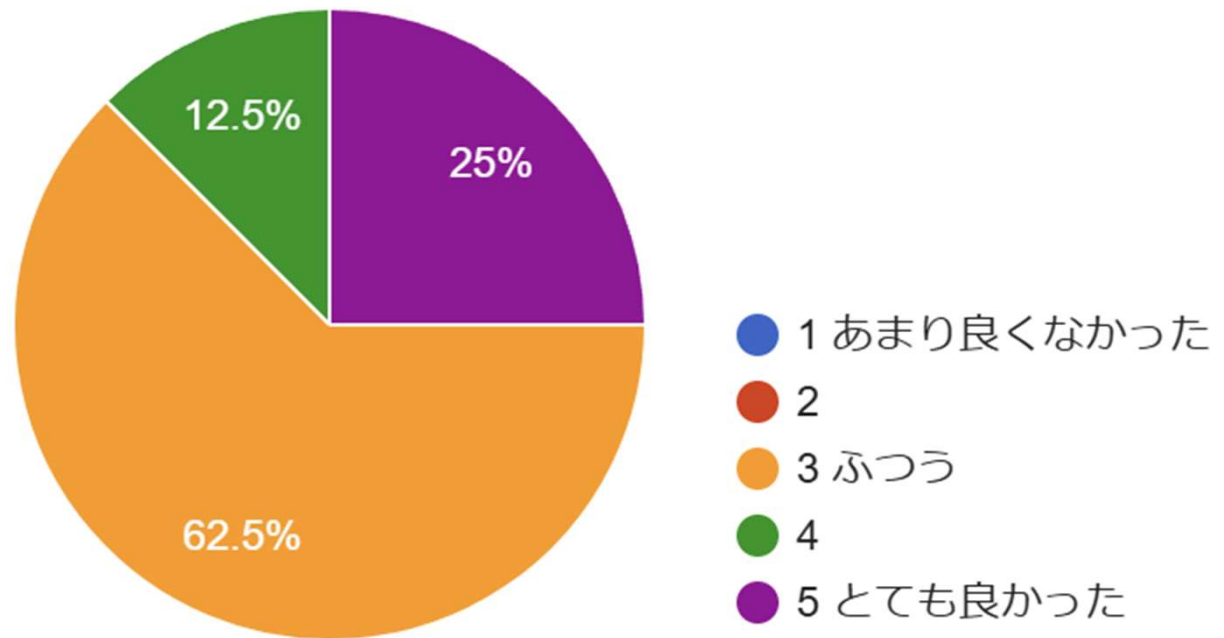


参加に際し勤務先から参加費のサポート はありましたか？

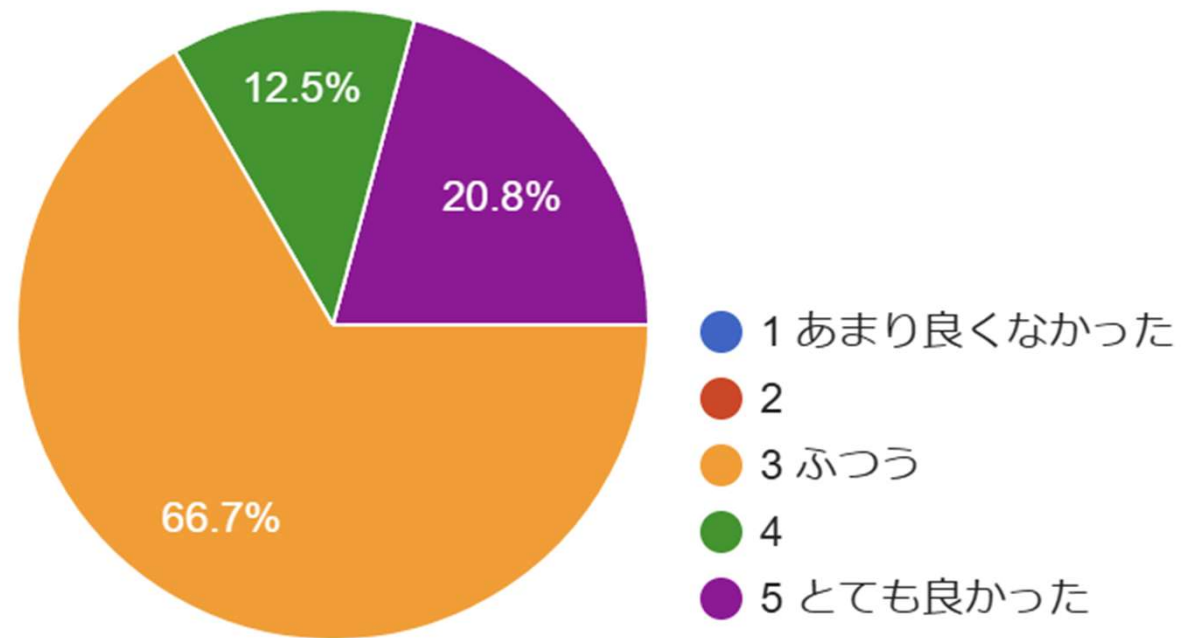


- 44000円
- 8万円くらい。後日支払い
- 全額
- 不明
- 0円

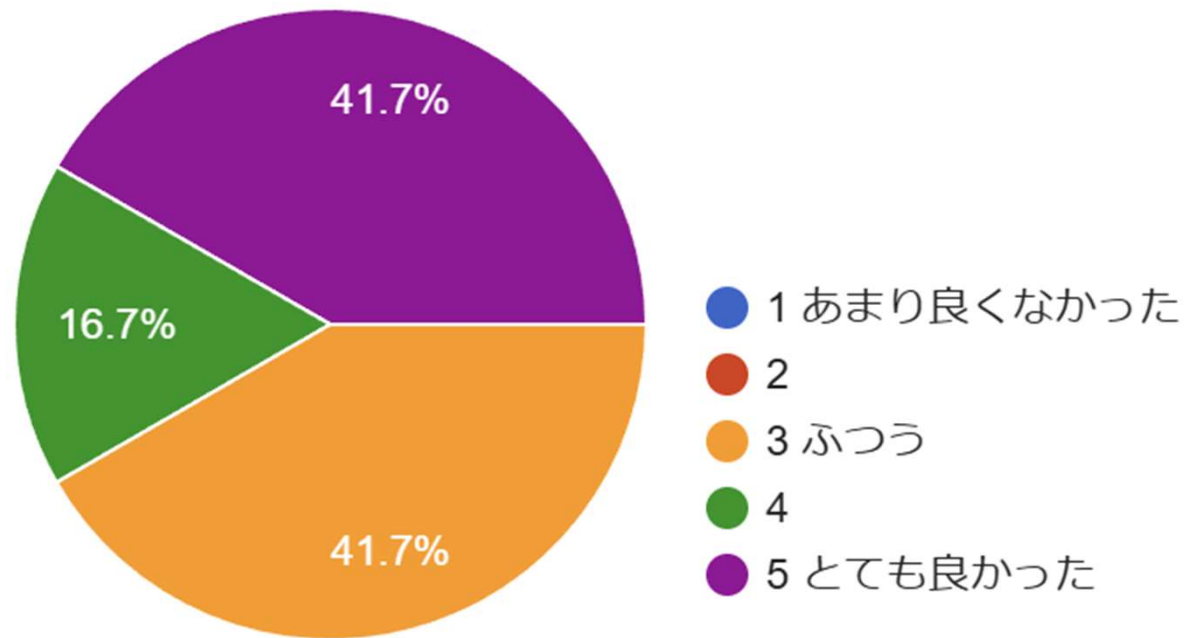
開催期間について



開催日程について



申込方法について



ご要望ご感想など

- wet laboはとても実践的でdry laboもいろいろなデバイスを試すことができて良かったです。
- ありがとうございます。
- またこのような機会を開いていただきたいと思います。よろしくお願いします！
- とても濃い内容で勉強になった。実臨床にしっかりと生かしたいと思う。同年代の先生とも知り合うきっかけになれて良かった。第一線で活躍されてる先生の講義を直接聞くことができ、とても貴重な時間であった。
- テキストは当日でもよいと思いますが、企業ブース等の各デバイスのパンフ等は事前配布でもよろしいと思います。